

丹波市市民活動支援センターだより vol.9

市民活動支援センターは、「地域づくり事業支援」「社会教育・生涯学習活動支援」「市民活動支援」、これら3つの拠点としての機能を備えています。行政とも連携し、共に手を携えて地域の取り組みを後押しする両輪となるべく活動しています。

活動報告

01

【市民活動支援】市民のみなさんと一緒に考え、 取り組む市民プラザのイベントを開催！

「丹波市市民プラザと市民活動をよりよく・楽しくする市民会議」を開催！

2月16日（日）、通称「プラザ市民会議」を開催しました。この会議では、利用団体や市民プラザに関わる皆さんと一緒にわいわいとお話をしています。今回は、普段から市民プラザを利用されている方、最近利用するようになった方など、11名が参加しました。

「市民プラザを入りやすく、もっと居心地のいい場所にするには？」というテーマを設定し、「一度も入ったことない人が入るポイントは？」「誰もが居心地が良くなるポイントは？」という視点で考えました。

市民プラザの過ごし方紹介の動画の製作や、いつでもオープンスペースに利用者がある環境づくりなど、気軽に入れる雰囲気をつくるためのアイデアが出ました。今後、これらのアイデアの具体化を目指し、利用者のみなさんと考える機会をつくっていく予定です。



施設の外側から、入りやすさのポイントを
確認する参加者

「地域医療のおしゃべりひろば」を開催

3月14日（金）、私たちの健康と命を守る地域医療をテーマに、日頃気になっていることやみなさんの経験談を持ち寄って、話し合う会を開催し、市内から15名が参加しました。

参加者は3つのグループに分かれて話し合い、その中で「市民と医療との接点を深める機会や医療従事者と接する機会」や「市民が医療のことを学ぶ場」が必要という話題が、どのグループでも共通していました。

この会は、お願いポストーあなたの願い全力応援プロジェクト」で応援している「医療職を目指す人をもっと増やしたい」という願いから生まれたものです。私たちの暮らしに密接な医療について、医療に関わりがある人も、接点が少ない人も、自分の思いや丹波への思いを話し合い、それぞれの参加者にとっても学びの多い時間になりました。



それぞれの思い、意見を話し合い、交流する
参加者

「地域医療のおしゃべりひろば Part2」
4月22日（火）市民プラザで開催します

活動報告

02

【社会教育・生涯学習支援】地域づくり講座 2024 「誰かに届く」から「あなたに届ける」広報のコツ講座を開催！

3月1日（土）に開催。広報について初めて学んだ方や、1年前にチラシづくりの講座を受講されたことがある方など、市内から11名の参加がありました。

講師はセンタースタッフの玉木が務め、参加者自身の活動目的や広報を届けたい相手のことを考える重要性、まずは1人でも活動を知ってもらう「相手」とつながることの大切さなどを共有しました。参加者からは、「初めての広報講座で参考になった」「活動の魅力を伝えるため、広報に力を注ぎたい」「タイムリーに届けられるオンラインツールの活用を考えていきたい」との感想がありました。



活動報告

03

【地域づくり支援】 鴨庄ミラインで、集落カルテづくりを支援！

鴨庄地区自治振興会では、地域のあり方を見直すミラインに取り組んでおり、市民活動支援センターが支援に入っています。鴨庄地区では、地域づくりの基本は自治会であり、自治会が積極的に取り組める体制づくりが必要だと考えています。そこで、自治会の現状を数値的に整理するため、集落カルテを用いて、各自治会のヒアリングを行いました。その後、出てきたデータを分析し、自治会長へ報告。現在は、各自治会で持ち帰り、役員での話し合いがスタートしています。来年度は、ミラインの最終年として、これからも継続して取り組める体制の構築に注力します。



▶2つのセンターが連携して、自治会アンケート調査を実施

市民活動支援センターと男女共同参画センターでは、「自治会の役員構成の多様性と多様な住民の参画」の調査を目的に、丹波市の全自治会を対象にアンケート調査を実施しました。アンケートの結果から、自治会長と副自治会長は60代以上の男性が多く、中高年男性を中心とした組織になっていること、男女共同参画の推進では、男女共同参画に関する研修の機会を継続的に行なう地域では住民意識の向上につながったりすることなどが、分かりました。結果分析の報告書を市民プラザのウェブサイトで公開しています。右記QRコードよりご覧ください。

